

# オンラインタウンミーティング

## ～小牧市の子育て政策について～



### - 実施報告書 -

#### 概要

#### 日時・場所

令和2年8月2日(日) 午前10時から12時まで  
小牧市役所601会議室、各自宅等

#### 参加者

市内保育園の保護者 7名

#### 事務局

広報広聴課

## 市長あいさつ

本日は、お忙しい中、タウンミーティングにご参加いただきありがとうございます。ございます。

ご承知のとおり、現在、新型コロナウイルス感染症は、第2波というような様相で、広がりを見せています。大変不安な日々をお過ごしのことと思いますし、市としても感染拡大防止に向けて、市民の皆さんにご協力をお願いしているところです。

保育園につきましても、4月には、皆さんに保育園の利用中止要請のお願いをさせていただきました。感染拡大を防ぐために、やむを得ず安全第一の判断をさせていただいたところです。

このことにつきましては様々なご意見もあろうかと思いますが、市のそうした判断について皆さんにご理解をいただき、多くの方に家庭での保育にご協力いただきました。おかげさまで、最大で95%の方々にご協力いただきましたこと、改めてお礼を申し上げます。

本日は、そうしたコロナ禍の中で、皆さんが日頃感じてみえることをぜひ率直にお話しいただければと思っております。

100点満点の答えが返せることばかりではないと思いますが、皆さんのご意見をしっかりと受けて止めて、今後、できる限り市政に反映させていきたいと思っております。本日はどうかよろしく願いいたします。

## 意見交換

### 保育園でのコロナ感染予防策について

- 保育園では子どもがくっついたり、抱っこしたりと密になりやすい。以前、先生方が手作りでパーティションを用意していただいていたが、丈夫なパーティションを準備するなどして先生の負担を減らせないか。

(市長)

保育士を始めとする職員につきましては、当然のことですが、手洗い、うがい等、基本的な感染予防対策の徹底を努めております。

また、園児についても感染予防第一ということで、これまで以上に手洗

い、うがいといった感染予防の徹底をしているところです。

職員はマスクを着用し、保育室を始め園内については職員の手で日常的に消毒作業を行っています。

おもちゃについては、園児の皆さんが手で触るものですし、場合によっては口に入れるということもあるかもしれませんので、おもちゃの消毒については、非常に気をつけてこまめに行っています。

また、換気をすることも大事ですので、十分に行っている状況です。

パーティションの話がありました。パーティションは、それぞれの園で、必要なものを手作りで用意しています。

8月7日に小牧市議会の臨時議会を開催し、補正予算について審議いただきます。その中に、保育園における必要な備品、あるいは消耗品の予算も計上しています。必要なものについては、購入等もしながら、さらに第2波、第3波に向けて備えていこうと考えています。

保育園や学校は、全く密を無くすということは、残念ながらできないと思います。完全に3密を避けて感染を避けることができるのであれば、当然ながら休園や休校といった措置は要らなかったと思いますが、それは難しいということで休園、休校の措置を取りました。

現状、保育園において、万一、感染者があれば100パーセント感染を防ぐことは難しいのが実情だと思っております。ただ、できる限り、やれることをしっかりやっていくことが必要だと考えています。

保育園では、できるだけ密を防ぐため、例えば、給食では対面ではなく、互いの顔が見えるように斜めに座り、手づくりのついたてを使って、飛沫感染予防に努めています。また、お昼寝については、布団の間隔を空けて敷く、それが難しい場合には園児の顔が近くにならないように交互に寝かせるなど、距離を取る工夫をしています。

また、戸外で遊ぶときには、学年ごとに時間差をつけたり、遊ぶ環境を整えて遊びの選択肢を用意したり、七夕などの行事は、年齢に合わせた内容とし、リズム室で学年ごとに時間差で楽しむなど、園児ができるだけ密にならないよう工夫をしていると報告を受けています。

各園でそれぞれ状況が異なりますが、今、申し上げたようにできる限り密を避けて接触を減らし、万一の感染リスクを減らせるよう工夫をさせていただいている状況です。

このような中で、園から保護者の皆さんにお願いをすることもあろうか

と思いますが、その際はぜひご協力をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

### 感染者が増え続けた場合の市の対応

- 新型コロナウイルスの感染者がそのまま増え続けた場合の小牧市としての対応。また、自粛要請等の宣言が出た場合、保育園や幼稚園も休園になるのか。

(市長)

まず、春の状況については国が緊急事態宣言を発出し、愛知県でも独自の緊急事態宣言が出され、学校、そして保育園についても対策を迫られた状況でありました。

当然、家庭での保育が困難な方については、市が預からなくてはいけないというのが第一にあります。子どもたちの安全のためにどちらを優先するかという中で、お仕事を休んでいただいても、ご家庭でみていただくほうがいだろうという判断をさせていただきました。

今後、感染者が増え続けた場合の対応についてですが、国あるいは県の状況を見ても、確かに春よりも広がりを見せていて、心配な状況です。しかし、国も県も緊急事態宣言等の対応をとっていないので、市が独自に保育園を閉めるといった判断をするような状況ではないと思っています。

ただ、それぞれのご家庭の判断で、心配だから保育園に行かせるのを見合わせたいとのことであれば、そのご判断を尊重していきたいと思っています。また、預けないからといって保育園を退園してくださいと申し上げるつもりはありません。

まずもって、今の段階ではそれぞれの判断で対応していただくしかないと思っています。今後、ますます感染が拡大をしてまいりますと、国あるいは県についても緊急事態宣言などの判断が出てくる可能性もありますので、そうした折には市として改めて慎重に検討して、子どもとご家族の安全が第一だという判断をしていかなければなりません。

現時点では、状況は見通せませんので、まずは感染拡大を防いでいくということで、できる限り皆様のご協力をいただきながら早期に収束できるよう努力をしていかなければいけないと思っています。

なお、仮に保育園で感染者が確認された場合、国の指針に従い、まず3日間保育園を閉園し、消毒作業などを行います。

同時に、感染者が保育園の中でどのような過ごし方をしたか、濃厚接触があったか、なかったかということについて保健所と市が一緒になって調査し、濃厚接触者を特定します。濃厚接触者と保健所が判断した方については、登園を控えていただくということになります。

園内の消毒を終え、濃厚接触者も特定でき、濃厚接触者には休んでいただくという形になりましたら、保育園を再開して、その他の方を通常どおりお預かりします。

それが第2、第3の事例が出てクラスター化してきますと、園として個別の判断をしなければいけないかもしれませんが、まずは、国の基準等に照らして、保健所等と連携をしながら、市として安全第一に対応していきたいと思っています。

#### 保育園のメール配信について

- 保育園保護者への連絡手段として、メールで連絡出来れば、連絡が届くまでのタイムラグがなくなる。また、手紙の準備などもなくなり、先生方の負担も減ると思う。

(市長)

今回の新型コロナウイルスの対応について、今までこうした事態を経験したことはありません。市も様々な防災管理のマニュアルを整備しております。その中には新型インフルエンザなどの対応方針もありますが、保育園や学校をこれほど大規模に休園休校にするといった事態は、これまで想定しなかったと思います。

国の対応についても想定しづらい状況の中で、後手、後手に回ってきた部分もあるかと思えますし、こういう状況になるのであれば、今、お話いただいたように、メール配信等、一斉に保護者の皆さんに連絡が届くような手段を用意していたらよかったなど、私もつくづく感じたところであります。

小中学校については、保護者の皆さんへ一斉メール配信ができるシステムを整備していましたが、保育園については学校とは若干事情が違い、毎

日送迎があるため、保護者の方と日常において顔を合わせる中で、十分にコミュニケーションが取れる、連絡もできるといった油断があったかもしれません。

ただ、急に何が起こるか分からないというような事態を想定しますと、どうしてもタイムラグが生じてしまいますので、お話いただいたように、一斉メールにより連絡をするということが非常に有効だと思います。

春の第1波の状況の後、小中学校のような一斉メールのシステムをつくるべきだと指示し、今、そのシステムの準備をしている状況です。セキュリティ対策や、若干システムを組む必要があるため、整備にもう少し時間を頂きたいと思っております。

なお、市からの様々な情報については、広報こまき、ホームページはもとより、ラインやフェイスブック、ツイッターといったSNSのツールでも常時発信をしておりますので、ご活用いただければと思います。ぜひこの機会に皆さんに登録等をしていただけるとありがたいと思います。

## 園舎の老朽化について

- 保育園の園舎がとても古いので耐震性など心配。また、駐車場が狭く送迎で混み合う時間帯があるため建て替えを考慮していただきたい。

(市長)

まず、市全体の公共施設の考え方についてお話をさせていただきます。

これはどこの市もそうですが、昭和40年代あるいは昭和50年代に人口が急増し、学校や保育園、公共施設を大きく増やした時期であり、この年代に建設が集中しています。

そのため、老朽化の時期についても集中してくるので、計画的に修繕や建て替えの整備をしていかないと、財政的な負担がこれからぐっと増えてくるような厳しい状況にあります。今ある建物を、同じように全て建替えていくというのはなかなか難しいことです。

私が就任して以来、公共ファシリティマネジメントの計画、ファシリティというのはハード、建物などのことを指していますが、建物をどのように整備をしたり、建て替えをしたりしていくかという、全体計画をつくりました。

その中で、保育園については民営化したものも含めて、市の財産として管理している園が20園あります。昭和40年代に建築された保育園が5園、昭和50年代が8園、平成になってから建築されたものが7園です。

20園のうち、築年数が30年以上経過したもののというのが14園ありまして、実に全体の67%が築30年以上という状況になっています。

そうした中、耐震性ということについては、平成26年に全ての公共施設の耐震の状況を確認し、いずれの保育園についても全く問題ありませんでした。古いといっても建物としては安全な建物であるということ、まず皆さんにお伝えしたいと思います。

人口推計を見ると、今後増える地域、減る地域があり、減っていく地域については、将来的に建て替えではなく、場合によってはなくしていく、統廃合していくというようなことも出てくるのではないかと考えております。

今あるものをできるだけ大事にしながら、ニーズがある限り有効に使っていく。安全に管理していく。そして時期が来たら、子どもの数などを見ながらどのように整理をするか検討していくといった状況になるかと思っています。

今、保育園に預けておられる保護者の皆さんにとっては、そう言われてもどうしようもないという感じかもしれませんが、安全にきちんと管理をしながらやっていきます。

また、例えば建て替えようとしても、今すぐというのはなかなか難しく、新しい園舎を利用できるのは、現在お預かりしている園児の皆さんよりも後の方々になってしまいますので、ご理解いただければと思います。

## 給食内容の見直しについて

- 給食につくデザートや行事食が減っていて、レシピの公開もなくなつた。おやつについても、手作りのものが減り、市販のスナック菓子が増えたので見直してほしい。

(市長)

公立の保育園については、栄養士がきちんとカロリー計算をし、栄養のバランスを考えて献立を作成し、園長や調理員の代表者が検討し、決定し



て提供していると承知しております。また、献立を文字で見ただけではなく、目で見ておいしそうだと思っていただけるよう実際に給食を展示したり、給食のレシピを公開したりする等、工夫をしているとの報告を受けています。

献立については園長や調理員の代表で検討をしていますが、やはり食育という面もあるので、行事の献立など保護者の方からも何かいいアイデアがありましたら、気軽に園長に声を掛けてほしいと聞いています。

例年のカタツムリケーキについては、コロナウイルスの関係で、今年ではできませんでしたが、ハロウィンの時期に出しているおばけオムライスについては、実施の予定をしているとのことでした。

スナック菓子については、コロナの影響で休園もあったので、園でストックしているお菓子を提供しているという状況で、同じようなお菓子が重なって提供されたということがあったのではないかと思います。コロナがこれからどうなるか分かりませんが、正常化をしてくれば、そうした状況は解消されていくと思います。

基本は、栄養バランスをきちんと考えて出すこととしています。予算がないから保育園の給食の献立を1品減らして、スナック菓子を増やすとか、そういう意図は全くありません。きちんと検討してもらい、今後にご満足いただけるよう努めていこうと思いますので、少し見守ってください。

## 保育士の待遇改善について

- 私たちは先生方に助けられて、毎日安心して仕事に行けているが、このコロナの中で先生方の負担もすごく増えていると感じる。国が改善するしかないだろうが、市独自でサポートできないか？

(市長)

保育士の処遇については非常に悩ましいところで、保育士については重労働で、かつ未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えるという非常に大事な仕事だと思っています。処遇が不十分だと言われることについては、私もそのように思っています。

これはずっと言われていることで、処遇が上がらないということについては、正直なところ市独自で行うことには限界があり、難しいのが実情で



す。

私見ではありますが、保育士、あるいは介護に携わる皆さん、もっと言えば病院の勤務医の方なども、重要さと大変さに見合うだけの処遇が受けられていないのではないかと思います。保育士の処遇については、国全体の議論であり、市だけではなかなか難しいところがあります。

国や県に対して、市もそういったことを訴えています。国全体で議論して解消してもらわないと難しい問題かなと思っています。

そうした中で、最近コロナ対応もあり、保育士の負担というのが増加しているというのは事実ですので、現場サイドの状況を把握し、負担軽減に向けて市としてできることは、できる限りサポートしていきたいと思えます。

保育士不足というのもありますので、子どもたちのためにも、まずは小牧市の保育園の保育士をきちんと確保していくことが一番大事だと考えています。例えば、他の市町より処遇が悪いということにならないように、市長として当然、心がけているところです。

また、市内21保育園のうち、公立園が15園、私立が6園ありますが、公私の格差についても是正しなければなりません。

私立の保育園については、処遇改善分の補助を行うという方法も検討しましたが、保育士個人にきちんとその分の補助が行き渡るか、また、それをどのようにチェックするのかという課題があり、今、担当部署が調査研究を行っているところです。

また、保育士の負担軽減ということで、今年度から事務看護師を会計年度任用職員として雇用しています。計画では4名を配置したいところですが、現在雇用が3名で、北里保育園、大山保育園、岩崎保育園で勤務しています。

看護師の配置の狙いは、市内の公立保育園15園のうち看護師を配置する拠点園を4園指定して、その拠点園を中心にして巡回訪問をし、園長や他の保育士への指導、補助、相談、アドバイスなどを行っていかうとするものです。例えば、体調不良やけがをした園児の応急処置の対応、予防接種の確認や離乳食の相談、あるいは子どもの発育についての相談やアドバイスなどです。

看護師の巡回訪問については、新型コロナウイルス感染拡大が心配される中、園を巡回すると、万一のときに園を超えて感染が広がるリスクがあ

るので、今は見合わせています。現在、看護師は、常駐している保育園の0歳児、1歳児のクラスを中心に保育に携わっています。コロナが収まってくれば、今申し上げたような対応をしていきたいと思っています。

以上の面から、保育士の負担軽減について、全体として取り組んでいきたいと考えています。

### 子育てする中での悩み

- 年少児～就学前の子どもと3歳以下の子どもの兄弟がいる場合に、児童館の子育て支援室に年齢制限が設けてあり、利用しづらかったことに関して。

(市長)

今お話いただいたことは、もう10年も前から言われおります。私も児童館と話をしましたが、やはり安全を考えると、特に小さな0歳から3歳までのお子さんと一緒に遊ぶ場に大きな子を入れないというのは、ご理解いただかないという返答でした。私としても安全上そういう判断をせざるを得ないのであればいたし方ないと考え、現在でも小牧市の児童館の対応は変わっていません。

ただ、児童館内の子育て支援室は0歳から3歳までの利用となっているため、上のお子さんは入れず一緒に遊ぶことはできませんが、それ以外のスペースで一緒に遊んでいただくことは可能です。

児童館では、子育て支援室以外の場所でも小さなお子さんに安心して遊んでいただけるように環境など配慮し、職員が親子に声をかけ、関わりながら「楽しく遊べた」と感じていただけるように努めていると報告を受けています。

お母さん1人で複数のお子さんを連れて行くと、どうしても年齢によって遊び方が違いますし、特に遊ぶ場所が違ってお母さんは1人なので困るという声はずっとありますし、よく分かります。

ただ、今お話したように、特に小さなお子さんの遊び場として用意している部分については、安全上、大きなお子さんが入っていただくことはできないという決まりにしているため、大変申し訳ありませんが今の段階でも変えることができない状況です。

➤ 子宮頸がんワクチン接種の小牧市における接種の現状、ワクチンの安全性について

(市長)

子宮頸がんワクチンについては、平成25年の4月に、小学校6年生から高校1年生に相当する女の子を対象に予防接種法による定期接種ということになりましたが、接種者の副反応の被害が相次いで報告されたということから、国は2カ月後の6月には積極的な接種勧奨を中止するという事態になりました。

こうしたことから、小牧市においても国の動きと合わせて接種対象者に予診票を個別に送付するといった積極的な接種勧奨は控えているところで

今、全国平均で子宮頸がんワクチンの接種率は1%未満というように聞いています。親子健康手帳ですとか、保健センターが作成しているガイドブックなどでは、この定期接種について周知をしています。そこまでのご案内にとどめていて、接種を希望される方については予診票を自宅に送付し、医療機関で接種をしていただくという流れになっています。

この子宮頸がん予防ワクチンについては、積極的な推奨が中止されてから6年が経過していますが、今なお予防ワクチンの接種と副反応とされる症状との因果関係について説明がされていない状況が続いていると聞いております。そのため、接種するかどうかについては、接種対象者やご家族の判断に委ねている状況であるため、現在、その情報として厚生労働省作成のリーフレットを、市のホームページに掲載させていただいています。

今後、市としても情報提供の在り方などを引き続き調査研究していき、分かりやすく正しい情報を伝えるということについて努力をしていこうと思っております。

**保育園の受け入れについて**

- 出産に伴い退職した場合、預け先が決まっていなくて仕事を見つけることが難しく、入園するためには仕事先がないと園に申し込めない。働くにはとても難しい状況だと思うが、何か対応ができないか。

(市長)

この問題については、多くの方からそういうお声を頂いています。

保育園の受け入れに余裕があればいいのですが、これまでなかなか余裕がなかったんですね。働いていて子どもを預けたい、要するに入園する資格をお持ちの方でもなかなか全員をスムーズに受け入れることができない、いわゆる待機児童を発生させるような状況でした。これはもちろんよくないことなので、待機児童を何とか解消しようと、ここ数年でみなみ保育園のような新しい園もつくりましたし、民間の園も増やしてきて、去年ようやく待機児童が解消できたという状況です。

例えば、お子さんを預けていて、新しくお子さんを授かったりしたときにはやはり産休、育休になるということですね。お休みになる場合は、一旦退園してもらうことが以前にはありましたが、お友達もできたし、何とか続けて保育園に通ってもらいたいということで、今は3歳以上の場合には、継続して園を利用いただいています。

本当は3歳未満もと思うのですが、それはまだできない。定員が十分あって受け入れられるのであれば当然やりたいのですが、そういう環境が十分ではないというところに根本的な原因があり、定員を増やす努力を現在までしてきましたし、今もしているところです。例えば、リズム室を保育室にし、定員を何とか確保するといったこともやってきました。ようやく待機児童の解消ができましたので、今後はリズム室を本来の目的で使いたい、また、お話をいただいた不具合のところをできる限り受け入れていくといったことを徐々に進めていくというのが今の小牧市の状況かなと思います。

今のところ、就職活動で職を探すに当たって、預けることができるのは2カ月ということになっています。2カ月たって働いていないと、保育園を利用する基準を満たしていないということで一旦退園いただき、また、空いていれば申し込んでいただくことになっています。これももう少し余裕があれば柔軟に対応できると思いますが、現状では、とにかくどう余裕をつくっていくのかについて、市として努力をしていきたいと考えております。おっしゃることはよく分かりますし、ご不便をおかけしておりますが、市としてもそういう方向で努力しているところですので、大変申し訳ありませんがご理解いただけたらと思います。

## 市長からお礼のあいさつ

今日は長時間、本当にありがとうございました。皆さんの貴重なお時間

をいただき、こうした機会をつくることができました。それぞれの皆さんから日頃疑問に思ったり感じたりしていらっしやることを率直にご質問やご意見として頂戴できたと思っています。

冒頭で申し上げましたとおり、ご意見、ご質問に対する回答が、皆さんの腹にストンと落ちるような答えでない部分もあったかもしれません。けれども、市として、より子育てしやすいまち、子どもたちが健やかに育っていけるまちに向けていろいろ努力をしているところです。私もなかなか気づかないところもありますので、こうした機会は重要だと思っております。ただ、私がいつもこのように皆さんからお話をうかがうということは、なかなか難しいところでもありますので、お気づきの点や、本日、質問できなかつたことがありましたら、お気軽に保育園の保育士、市役所や子育て世代包括支援センターなどの職員に声を掛けていただきたいと思います。

今日いただいたご意見については、しっかりと受け止めて、市政に反映させていきたいと思っております。

今日は、本当に貴重なお時間をいただきました。心から感謝をいたします。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

最後に、本日ご協力いただきましたことに心からお礼を申し上げ、また、子どもたちのより良い環境づくりのために、今後とも皆さんのご協力をお願い申し上げて、最後のまとめの挨拶にさせていただきます。